

さくら市長の花塚隆志です。

本日は、定例記者会見を開催するお知らせをいたしましたところ、報道機関の皆様には、ご多忙のところご臨席をいただきまして厚くお礼申し上げます。

今年、コロナ禍を経て、市民体育祭やきつねの嫁入りなど、様々なイベントが4年ぶりに相次いで開催できました。特に第19回を数えるさくら市民体育祭の秋季大会は、行政区重視の市政を象徴する事業として関係者との協議を重ね、さくらスタジアムにおいて、初めて氏家、喜連川両地区の合同開催として実施いたしました。当日は晴天の中、75行政区のうち45の行政区に参加いただき、地域社会

全体が一体となって健康増進とスポーツを楽しむ機会として、大いに盛り上がりました。

ところで、今年には栃木県の誕生 150 周年として、その節目にさくら市も含め、ふさわしい事業が県内各地で展開されております。そしてさくら市は、来年度の令和 7 年 3 月に市制施行から 20 周年を迎える特別な年となります。この節目を迎え、記念事業としての内容の検討と予算編成に着手しており、現在具体的なプランを練っています。いずれにしても、特別な年にふさわしい、さまざまな事業を実施する予定です。事業の詳細やスケジュールは、決まり次第、皆様に随時お知らせさせていただきますので、皆様には周知のご協力をお願いいたします。

さて、本日の記者発表ですが、8 月と 9 月に行いました、アメリカロサンゼルス国際友好都市、ランチョ・パロス・ベルデス市の市制 50 周年記念イ

ベントに招かれて、訪問を行った国際友好都市訪問事業、対前年比4倍となりました、さくら市のふるさと納税事業、前回の定例記者会見でもドローンを使った協定と実証実験をお知らせしましたが、今回は教育分野で行った採点支援システム「リアテンドメント」を用いたDX実証実験の結果についてなどをお知らせしてまいります。報道の皆様には、今後ともどうか親しく、新たな情報については折に触れて、ご教授頂ければ幸いです。どうかよろしく願い申し上げます。

それでは、お配りした資料に従って発表に移らせていただきます。

まず始めに

- (1) 国際友好都市を締結しているアメリカ、

カリフォルニア州ランチョ・パロス・ベルデス市において、8月5日に国際友好都市締結3周年記念イベント及び市制50周年カウントダウンイベント、9月9日に市制50周年記念イベントが開催されるにあたり、国際友好都市関係者としてイベントに招待され、8月は副市長、笹沼市議会議員、9月は私と教育長、石岡市議会議員、岡村市議会議員、大河原市議会議員が訪問しました。

記念式典参加や交流事業だけでなく、広域の教育を管轄するパロスベルデス半島統一学区教育事務所を訪問し、さくら市のALTの現地採用や教員相互の人事交流の促進の意見交換。国際友好都市締結以前から氏家中学校・喜連川中学校と姉妹校連携を締結し、今年度中学生の派遣事業も決定しているミラステ中学校を訪問し、更なるオンライン交流の促進やミラステ中学校からのホームステイの受

入れについての意見交換を行いました。

また、コロナ禍により先延ばしされていたミラレステ中学校からのさくら市へのホームステイの受入れについては、令和7年3月に迎えるさくら市の市制20周年に併せて、実現できるように調整を図っていくことも伝えてまいりました。

次に

(2) さくら市のふるさと納税の現況についてです。6月に報道各社の皆様には、ふるさと納税による寄付受け入れが3億円を突破し、対前年比の2.7倍になったとお知らせしました。

10月末日現在では、さらに寄付額が伸び、昨年度下期からの返礼品強化（ウイスキー・いちご）による寄付額の増加も加わり、対前年比398%。

9月に至っては、総務省の法改正に伴う駆け込み

需要の成果もあり、寄付額が通常の前月より、対前年9月比684%と大幅増加したのも要因です。10月以降も増加傾向を維持、年末の駆け込み需要により更なる寄付増加になるものと期待しております。

続いて

(3) 採点支援システム「リアテンダント」を用いたDX実証実験の結果についてです。

R4年度さくら市DX実証実験サポート事業で採択した『デジタル技術を活用した未来の教育』では、採点支援システム「リアテンダント」（事業者はリコージャパン株式会社）を使い、令和5年4月から小テストや定期テスト（中間・期末）など市内中学校2か所（氏家中学校・喜連川中学校）の採点・集計をデジタル化し、教員の作業負担を削減と、採点時に自動集計された学習データから、指導が必要な

生徒を見つけ、その生徒の学習課題を分析することを行いました。

実証実験が終了し、検証を行ったところ、有益な結果やアンケート内での好意的な意見が出ており、システムの有効性を見出しました。

今後、継続利用することで教員の作業負担を削減などの改善が見込まれる結果をふまえ、改善策の提示や検討を行いながら、今後ともシステムの積極的な活用を通じて「本格導入」に向けた検討、諸準備を進めることといたしました。

最後に

(4)と(5)は今後の事業で、さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-開館30周年記念特別展 平山郁夫展-悠久のシルクロード 仏教の来た道-についてです。開館30周年記念特別展として、これ

までにはない大規模なスケールで、平山夫妻の収集された仏像や貴重な遺物を紹介しながら「仏教の来た道」をテーマに展覧会と会期中に開館記念式典も開催いたします。この展覧会では、20組限定で平山郁夫展貸切りし、学芸員による見どころ解説ができるふるさと納税の返礼品事業という市としては初めての試みも行っております。

また例年秋季に開催しておりましたさくら市マラソン大会を本年度は令和6年2月23日(金・祝)にさくら市総合公園さくらスタジアムを発着とし、第19回さくら市マラソン大会～日本三大美肌の湯ハーフマラソン～の開催いたします。

以上をもちまして、私からの記者発表とさせていただきます。報道機関の皆様には、今後とも「さくら



市」の事業を報道いただき、市民に情報を提供する重要な役割を果たしていただきますよう、引き続きよろしくお願いいたします。